

# 平成28年度事業報告書

## 1 生物環境調査

千年サンゴ周辺を起点とした固定調査地点を選定し、サンゴ周辺における生物等の調査及びサンゴに係る経年変化を調査を実施した。

### (1) 第1回生物環境調査

実施日：平成28年5月14日(土)

参加者：17名(事前講座は9名)  
(もぐりんサンゴの会メンバー)

内 容：サンゴ・海藻のモニタリング  
海藻押し葉標本作り



### (2) 第2回生物環境調査

実施日：平成28年10月29日(土)

参加者：16名(事前講座は8名)  
(もぐりんサンゴの会メンバー)

内 容：コブハマサンゴの状況調査



## 2 サンゴ保全活動

千年サンゴ及び周辺のサンゴ群落の被害を防ぐため、オニヒトデやトグレイシガイダマシなどのサンゴ食害生物の駆除を実施した。

### (1) 第1回保全活動

実施日：平成28年7月24日(日)

参加者：陸上班8名、水中班19名  
(もぐりんサンゴの会メンバー)

結 果：サンゴ食巻貝387個を駆除



### (2) 第2回保全活動

実施日：平成28年9月24日(土)

参加者：陸上班8名、水中班28名(県外9名)  
(もぐりんサンゴの会メンバー・県外ダイバー)

結 果：サンゴ食巻貝133個を駆除



○合計 陸上班16名、水中班47名  
サンゴ食巻貝520個・オニヒトデ0匹

## 3 環境学習・イベント開催

次代を担う地域特有の生物多様性の魅力等を伝えられる後継者の育成のため、学生ボランティアダイバー育成事業や「千年サンゴの日」制定1周年記念式典の開催を行った。

### (1) 学生ボランティアダイバー育成事業

実施日：平成28年10月22日(土)・23日(日)

参加者：関西大学スキューバダイビングサークル13名

結 果：サンゴ食巻貝18個を駆除



### (2) 「千年サンゴの日」制定1周年記念式典

実施日：平成28年12月7日(水)

場 所：牟岐町海の総合文化センター

参加者：250名

内 容：

- ・千年サンゴ4K映像
- ・牟岐小学生による鼓笛演奏
- ・千年さんごちゃん「生物多様性キャラクター応援団」入団式
- ・講演会 モラスコむぎ元館長 水上雅治氏

主催：牟岐町 共催：千年サンゴと生きるまちづくり協議会



#### 4 保護活動にリンクさせた地域活性化

サンゴ保全活動や自然財産を活かした地域活性化を実施した。

##### (1) 千年サンゴの情報発信

千年サンゴの4K動画を制作し、牟岐町主催の「千年サンゴの日」制定1周年記念式典において初上映を行った。

また、県内外の方に千年サンゴを周知するため、徳島ととくターミナルで「千年サンゴ映像体験フェア」を開催した(参加者 350 名)。

その他、協議会HP、You tube「徳島チャンネル」、徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」、県庁1階4Kモニター及び阿波おどり空港インフォメーションディスプレイで情報発信を行った。



##### (2) 千年さんごちゃんの活用等

協議会の事業及び地元イベントを中心に年16回出動し、千年サンゴの広報活動を実施した。また、国連生物多様性の10年日本委員会「生物多様性キャラクター応援団」に入団し、生物多様性に関する取り組みの促進を図った。



##### (3) 婚活支援事業(出会いサポート)

牟岐大島や出羽島などを有する牟岐町の豊かな海の魅力を、マリンスポーツやビーチコーミング等の体験を通して肌で感じてもらうとともに、独身男女のパートナー発見の機会を創出するために「海 de 愛 in むぎ」を開催した。

実施日:平成28年8月13日(土)

場 所:モラスコむぎ

参加者:28名(男性18名・女性10名)

結 果:4組が成立



##### (4) 千年サンゴのPR及びサポーター募集

作成したパンフレットを活用して、町内・町外におけるイベント等で、PRを実施するとともに、千年サンゴ保全サポーター(年会費制による活動支援者)の募集を行った。

H28年度千年サンゴサポーター: 543,000円(349名、8法人)

##### (5) 地域通貨の試験発行

9月24日のサンゴ保全活動において、保全活動資金確保や地域の活性化を図るために、地域通貨「サンゴ券」を試験発行した。(サンゴ券による寄附:300円)

##### (6) その他

ア 生物多様性、愛知目標に向けて「にじゅうまる宣言」を実施

にじゅうまるプロジェクトとは、国際自然保護連合日本委員会が提案するプロジェクトで、生物多様性条約第10回締約会議(COP10)の成果である「愛知目標」を知り、広め、行動するというアクションを核とした活動である。



守られてるから、  
守りたい。  
この星すべての生命。

イ 新国民運動「COOL CHOICE」に賛同

政府は平成27年6月、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で26%削減するという大きな目標を掲げている。この目標を達成するための国民運動として掲げられたのが「COOL CHOICE」である。



※「COOL CHOICE」

省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促すもの。